

## いよいよ開校 舞鶴養護学校

舞鶴養護学校(新設)は、地域社会に密着し、高い専門性を持つ「21世紀の新しい総合養護学校」として、来る4月に開校します。

### どんな学校なの？

舞鶴市を通学区とする、知的障害と肢体不自由の児童生徒が共に学ぶ総合養護学校です。

ノーマライゼーションを一層推進する観点に立ち、地域社会に密着し、小・中・高等学校や地域との交流を図るとともに、福祉・医療・労働等関係機関と連携して、児童生徒一人一人の能力を最大限に伸ばし、自立や社会参加するための基盤となる「生きる力」を培う教育を進めます。また、高い専門性を生かし地域の障害児教育のセンター的役割を果たすことを目指しています。

### 目指す学校像

- 一人一人の教育的ニーズに応じて先導的で特色ある教育活動を行う養護学校
- 児童生徒の心と体の健康と安定を図り、安全で安心して過ごせる養護学校
- 保護者と児童生徒一人一人の願いの実現を目指す養護学校
- 専門性を生かし、地域の障害児教育のセンター的役割を果たす養護学校
- 福祉・医療・労働等の関係機関との密接な連携のもと、教育課題に積極的に取り組む養護学校
- 家庭や地域社会に開かれ、信頼される養護学校



手前は送迎棟。中程は右から小学部棟、中学部棟、高等部棟。後ろは職業訓練棟。送迎棟1階は、安全で児童生徒の負担を少なくするための乗車場兼車庫のスクールバス用プラットフォームです。

校舎全景

### 学級編制はどうなるの？

小学部・中学部・高等部とも発達段階や障害の特性等をふまえ、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導課題を設定し、その持てる力を最大限に発揮し伸長できるよう学級を編制します。

加えて高等部では、社会の一員として豊かな社会生活が営めるよう、教育課程をコース別に設定し学級を編制します。

| 小学部       |           | 中学部         |           | 高等部       |  |
|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|--|
| 訪問教育学級    | 訪問教育学級    | 普<br>通<br>科 | 生活自立コース   | 訪問教育学級    |  |
| 重度重複学級    | 重度重複学級    |             |           | 重度重複学級    |  |
| 知的・肢体障害学級 | 知的・肢体障害学級 |             |           | 知的・肢体障害学級 |  |
| 自閉症学級     | 自閉症学級     | 職業自立コース     | 知的・肢体障害学級 |           |  |

\*自閉症のある児童生徒については、小・中学部では、その障害の特性に応じた教育内容や指導方法を用意した自閉症学級を設置し、社会生活に必要な力の基盤を身につけることを目指します。高等部では、他の障害種別の生徒と一緒に学級において、社会生活に必要な力の定着を図ります。



プレイルーム

明るく広々としたスペースを確保し、冬でも元気いっぱい遊べる床暖房設備を取り入れています。また、この部屋も含め教室には冷暖房を完備し、楽しい学習を支えます。



重症心身障害児童生徒用教室

障害の重い児童生徒の快適さに配慮して、量や介護設備の整ったトイレを付設しています。

### 「京都式少人数教育」への期待、次々と

#### ～「知事と和い和いミーティング」～

府民の皆さんと山田知事が自由に語り、皆さんの御意見を府政に反映させる「知事と和い和いミーティング」が「京都式少人数教育」をテーマに平成16年12月16日(木)に開催されました。

知事と参加者は京田辺市立田辺小学校で、低学年指導として実施している1年生の2人の先生による「音楽」と学習内容の理解の程度に応じて学ぶコース別の3年生での「算数」の少人数授業を参観しました。

その後のミーティングでは、児童一人一人に手厚い本府の少人数教育への期待が参加者から次々と述べられました。

知事と参加者の意見交流のなかでは、学校、家庭、地域社会が連携して、これからの豊かな教育を作っていくことの重要性などが語り合われました。



和い和いミーティング



### 加悦谷高校シューベルトコンクール 2冠 & 被災激励演奏会

府立加悦谷高校合唱部が、オーストリア・ウィーンで開かれた「第21回シューベルト国際合唱コンクール」で4度目の総合第1位及び女声合唱部門第1位の2冠に輝きました。11月27日(加悦谷高校)、28日(京丹後市・アグリセンター大宮)に優勝報告会を兼ねて、「台風23号被災者激励演奏会」を開催し、被災地の一日も早い復興を願って、心に響く歌声を披露しました。



卒業生を交え、歌声を披露する同校合唱部

市・アグリセンター大宮)に優勝報告会を兼ねて、「台風23号被災者激励演奏会」を開催し、被災地の一日も早い復興を願って、心に響く歌声を披露しました。

# 山城地域の府立学校の再編整備について検討を進めています

高校の再編整備

山城地域の公立中学3年生数は、ピーク時の昭和63年は約9,000人でしたが、現在は約4,600人と半数近くにまで減少しており、今後も微増・微減しながら推移していくと予想されます。学校規模も小規模化が進み、希望に応じた教育課程の編成や活力ある部活動を行う上での課題となっています。

## <活力ある高校づくり>

**適正規模を確保して活力ある高校づくりに努めます。**

- ・生徒の進路希望や学習ニーズに応じた科目選択の幅が広がります。
- ・多様な部活動が展開でき、体育祭や文化祭などの学校行事や生徒会活動においても活力ある取組ができます。
- ・生徒同士の切磋琢磨や相互啓発を通じて、集団の中でのより良い人間形成の機会が広がります。

適正規模（1学級あたり40人として）

学年制の全日制高校：1学年8学級程度 単位制高校（総合学科を含む）：1年次6学級程度

## <魅力ある高校づくり>

山城地域の12校の府立高校のうち4校を対象とし、それぞれの府立高校の伝統や校風を継承させ特色のある2つの高校に再編整備して、将来に向かって更に充実・発展させていきます。

これらの府立高校では、次のように時代の変化に対応した一層魅力ある教育を創造していきます。

国際社会で活躍できる人材の育成をめざす専門性の高い教育

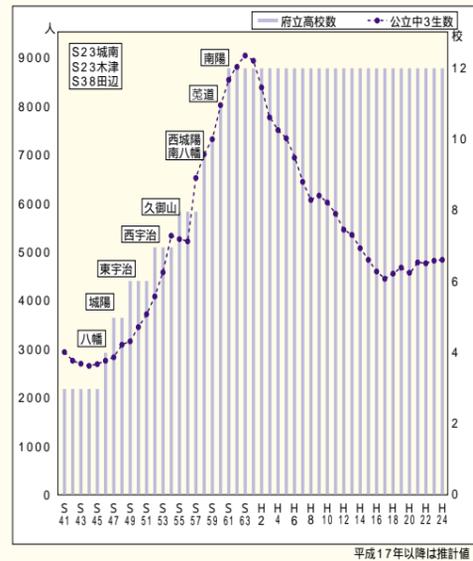
京都らしい伝統文化を生かし未来の文化の創造をめざす教育

豊かな未来社会の形成に寄与する福祉マインドをかん養する教育

山城地域の全ての府立高校で、教育内容や指導方法の充実・改善、部活動などの活性化に取り組みます。

高校の募集定員は、これまでどおり進学率の維持・向上をめざして定めますので、この取組によって府立高校へ入学しにくくなることはありません。

山城地域の府立高校数と公立中3生数（5月1日）の推移



山城地域府立高校規模

| 高校  | 設置年度 | 募集学級数 |      |
|-----|------|-------|------|
|     |      | 63年度  | 17年度 |
| 城南  | 23   | 10    | 6    |
| 東宇治 | 49   | 10    | 5    |
| 西宇治 | 52   | 10    | 5    |
| 菟道  | 60   | 11    | 7    |
| 城陽  | 47   | 11    | 7    |
| 西城陽 | 58   | 11    | 9    |
| 八幡  | 46   | 10    | 5    |
| 南八幡 | 58   | 11    | 4    |
| 久御山 | 55   | 11    | 5    |
| 田辺  | 38   | 11    | 8    |
| 木津  | 23   | 11    | 7    |
| 南陽  | 61   | 9     | 9    |

養護学校の再編整備

ノーマライゼーションを一層推進するため、地域社会に密着するとともに、地域の障害児教育のセンター的役割を担う、専門性の高い養護学校として再編整備を図ります。

- ・向日が丘養護学校の通学区域を縮小して、向日市、長岡京市、大山崎町とします。
- ・南山城養護学校の通学区域を縮小して、京田辺市、綴喜郡、相楽郡とします。また、城陽養護学校の通学高等部の通学区域は、これまでどおり、山城地域全体とします。
- ・宇治市、城陽市、八幡市、久御山町の3市1町を2つの通学区域に再編し、知的障害と肢体不自由の子どもたちが共に学ぶ総合養護学校を整備します。

南部地域の養護学校の状況

| 養護学校   | 設置年度 | 障害種別       | 通学区域                            |               |
|--------|------|------------|---------------------------------|---------------|
|        |      |            | 宇治市(知)                          | 八幡市(肢)        |
| 桃山養護   | 49   | 知的障害       | 宇治市(知)                          | 桃山学園(知)       |
| 向日が丘養護 | 42   | 肢体不自由・知的障害 | 向日市・長岡京市・大山崎町                   | 宇治市(肢)・八幡市(肢) |
| 城陽養護   | 61   | 病弱・肢体不自由   | 京都府病院内に入院している児童生徒を対象            |               |
| 南山城養護  | 56   | 知的障害(軽度)   | 山城地域全体(自力通学可能な高等部生)             |               |
|        |      | 肢体不自由・知的障害 | 宇治市(知)の一部・久御山町・城陽市・京田辺市・綴喜郡・相楽郡 |               |

通学区域における(知)は知的障害のみ、(肢)は肢体不自由のみを示します。

## 学力の定着が進む京都府の小学校 個に応じたきめ細かな指導の効果

京都府では、府内の全小学校の4年生と6年生を対象に国語・算数の2教科で「基礎学力診断テスト」を実施し、児童の学力状況を把握・分析して、指導方法の工夫・改善に取り組んでいます。平成16年度の4年国語、6年算数の領域別の結果では、多くの領域で正答率が設定正答率を上回ったことが分かりました。これは、各学校で、少人数授業やチームティーチングなど、きめ細かな指導に取り組んできた成果の一端と考えられます。

また、中学校でも府内すべての2年生を対象に、国語、数学、英語の3教科で「学力診断テスト」を実施しました。これら診断テストの結果に基づいて府総合教育センターでは「基礎学力充実講座」「中学校学力充実講座」を開き、各校での指導方法の工夫・改善を促進することとしています。



設定正答率：個々の問題ごとに、正答率がどの程度になると考えられるかを示した数値

## 夢と希望を持って世界にはばたけ！ 時代の進展を踏まえ、プラン21を改訂

この度、『京の子ども、夢・未来』プラン21 - 京都府の教育改革 - の見直しを行い、新たに読書活動や健康教育の充実などを盛り込んで、教育改革の一層の推進を図ることとしました。内容は、京都府教育委員会ホームページ(<http://www.kyoto-be.ne.jp/>)でご覧いただけます。

科で「学力診断テスト」を実施しました。これら診断テストの結果に基づいて府総合教育センターでは「基礎学力充実講座」「中学校学力充実講座」を開き、各校での指導方法の工夫・改善を促進することとしています。



きょういく



## 向日市立勝山中学校～中・高連携授業で数学の楽しさにふれる～

勝山中学校では、個に応じたきめ細かな教育を進めるとともに学力の充実を図るため、数学・英語で習熟の程度に応じた少人数授業に取り組んでいます。11月には数学の内容をさらに充実させるため、府立向陽高等学校と連携した授業を行いました。

事前に高等学校の先生に授業を見ていただき単元や内容の検討を行い、3年生の発展コースで実施することとしました。

生徒からは、「高校での数学が楽しんだ。」「なるほどと思うことが多かった。」などの感想があり、数学の楽しさにふれる授業になりました。

今後、少人数授業において中高連携など、全ての生徒が数学の楽しさを感じることができるように内容をさらに検討していきたいと考えています。



## 丹波町立丹波ひかり小学校

### 未来をつくる丹波っ子～生きる力を育む社会科学習～

本校は「京都夢・未来校」として、専科教員による教科指導や少人数による授業などを中心にきめ細かな指導の研究実践を進め、児童一人一人の学力の充実向上に努めています。

社会科では専科教員と学級担任が互いに協力し、一人一人のよさを大切に認め、より専門的な授業を行うことで基礎・基本をしっかりと身に付け、児童の学習への意欲と関心を高めています。

また、習熟度や興味・関心等に応じた少人数授業の実践や地域教材の開発、地域の方々に「社会人講師」として授業に参画していただくなど、工夫した取組を進めています。あらゆる場面で「よさがひかり、ひとみが輝く児童」を地域の皆さんとともに育てています。



# 「京都府広域スポーツセンター」を開設しました



京都スポーツキューブ

府教育委員会では、府民の皆様が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、府内市町村で進められる「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援機関として「京都府広域スポーツセンター」を開設しました。

<場 所> 京都府スポーツセンター内(京都テルサ東館3階) 電話 075-662-2424  
〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70

<今後の事業予定>  
1月からクラブ育成のための、市町村巡回相談等を実施  
2月2日(木) 第1回総合型地域スポーツクラブ連絡協議会  
2月27日(日) ボランティアコーディネーター養成講座

## 京都府広域スポーツセンター開設記念シンポジウム

参加料無料! どなたでも参加できます!!

「地域が育てたメダリスト」 スポーツは、まちづくりに何をもちがらすか

<日時> 3月6日(日) 午後1時20分~3時 <会場> 京都テルサ内「テルサホール」

コーディネーター 宮嶋泰子(テレビ朝日アナウンス部)

ゲスト 伊調千春・井上謙二選手(アテネオリンピックレスリング競技のメダリスト)ほかを予定

コメンテーター 榎岡義明(佛教大学教授)

3月12日(土) 13日(日) クラブマネジャー養成講習会(後期)

<問合せ先> 保健体育課 電話 075-414-5864



# 地域社会で子どもを育てる環境づくりに向けて



「お正月のかざりを作ったのは初めてで、四苦八苦ししました。」(小学6年生児童)「きょうは、お正月かざりを、イネをかいたやつでつくりました。できました。たのしかったです。」(養護学校高等部生徒)

これは、「京のわくわく体験推進事業」の一環として、ある町で取り組んだ「お正月飾りづくり体験」に参加した子どもたちの感想です。

このように府内各地域において、学校や公民館など地域の身近な施設を会場として、子どもと地域の人たちが一緒に陶芸体験などのさまざまな活動をしながら、交流を深める取組が進められています。

京都府教育委員会では、心豊かでたくましい子どもを育てるため、府内市町村や関係団体と連携し、地域社会で子どもを育てる環境づくりに取り組んでいます。



## 高校生等修学支援事業について

現在実施している高等学校等修学資金貸与制度に加え、旧日本育英会奨学金の内容を引き継いだ新たな奨学金制度を検討しています。決定次第、パンフレット等で詳細をお知らせします。

問い合わせ先 京都府教育庁指導部高校教育課奨学係

☎075-414-5856

## 京丹後市立網野北小学校

### 「のびのび、生き生き」楽しい学校を ~学校評価による開かれた学校づくり~

本校では、本年度試行している学校評価を教育活動に活かすため、保護者、PTA、地域の諸団体に大きく変化する学校の教育内容や児童の教育課題をわかりやすく説明したリーフレットを1学期に配付するとともに、2学期には「網野北小学校の教育説明会」を授業参観と合わせて開催し、家庭や地域社会の連携・協力の必要性を訴えました。

3学期には、保護者、PTA、地域の人々に本年度の成果や改善点について報告し、学校改善に向けて意見を求めていくこととしており、児童がのびのび生き生きと楽しく学校生活や学習に打ち込むことができるように、外部評価を取り入れながら、子どもや地域の実態を踏まえた開かれた学校づくりを進めています。



## ポスターや標語にこめられた 子どもたちの思いを

本年度も「人権擁護啓発ポスターコンクール」や「みんなで創る人権五・七・五標語コンクール」に、多くの作品が寄せられました。

府内の各学校では、年間を通し、さまざまな人権問題についての学習を進めるとともに、自分の人権と同様に他人の人権も尊重する心を育成するための学習も進めています。それらの学習の一環として、ポスターや標語作りに取り組んでいます。

作品づくりをする時、子どもたちは、生活の中のさまざまなできごとを人権の視点から見つめ直し、気づいたことや思ったことをポスターや標語に表すことをとおして、人権感覚を磨き、豊かな感性をはぐくんでいきます。

子どもたちの作品をご覧になり、ポスターや標語にこめられた子どもたちの思いを感じ取っていただくとともに、人権を尊重することの大切さについて子どもと一緒に考える機会にさせていただきたいと思います。



平成16年度人権擁護啓発ポスターコンクール  
京都府教育長賞  
京田辺市立桃園小学校 6年 北川 紗絵 さん

気づいたら  
少しの勇気  
行動を

第3回みんなで創る人権五・七・五標語コンクール  
青少年の部・最優秀賞  
加茂町立泉川中学校 1年 芝越 涼香 さん

## 不登校をめぐって民間施設と意見交換 - 府政円卓会議 -

府民と行政のコミュニケーションを深めながら、府政の課題発見等を目指して、平成16年12月19日（日）に、府政円卓会議を開催しました。

「不登校児童生徒に対する民間施設の役割と連携について」をテーマに、府民、民間施設の方々、学校、教育委員会関係者などの参加のもと、シンポジウム形式で行いました。

会場からは、「学校は、学校ではできない部分を、民間と手をつないでやっていく必要があるのではないか。」といった、民間施設の特徴や学校との連携を求める意見が出されました。

今後、京都府では「不登校に関するネットワーク会議」において、こうした意見を踏まえて不登校児童生徒の学校復帰に向けた取組や、民間施設との連携の在り方について検討を進めてまいりたいと考えています。



## 府立学校に木のぬくもり ～木の香あふれる学校環境整備事業～

今年度府立学校37校に府内産の間伐材を利用した机や椅子、書架などの備品の配置を行っています。

特に、初めて府立聾学校・中丹養護学校の2校に学習机・椅子を配置しました。

京都府教育委員会では、子どもたちが地球環境保全の大切さを実感できる学校環境の整備をすすめます。



## 「京都総文」イメージソング・シンガー決定！

平成18年度に開催される第30回全国高等学校総合文化祭「京都総文」のイメージソング「夢のかけら」のシンガーコンテストが開催され（平成16年11月3日 会場：京都会館）入賞者が決定しました。

応募総数29組43名の中からグランプリに輝いた堀内君が歌う「夢のかけら」は、CD化され、「京都総文」の広報活動に使われることになっています。

なお、「京都総文」HP（<http://www.kyotosobun.jp>）では、堀内君の歌声を聞くことができます。



- 「京都総文」イメージソング・シンガーコンテスト入賞者
- グランプリ 堀内 友貴  
(府立盲学校高等部1年)
  - 優 秀 賞 池田 裕之  
(市立塔南高等学校3年)
  - 優 秀 賞 山下 まりえ  
(府立北稜高等学校1年)

グランプリ受賞 堀内友貴 君

## 「高校生きものチャレンジ事業」 ～府立洛東高等学校のとりくみから～

府立洛東高校の学校公開では、茶道部生徒が、きもの姿で中学生や保護者にお点前を披露しました。

これは、「きもの」を通して日本の文化・伝統を学ぶ京都府の「高校生きものチャレンジ事業」の一環として実施したものです。

本年12月には普通科総合選択制国際文化コミュニケーションコースの生徒が、オーストラリア研修旅行中、きもの姿で現地高校生と文化交流を図る予定です。



## 文化財

## 守り伝えたい文化財

府教育委員会では、府民の皆様の文化的生活の向上のための教育機関として、南部の山城町上拍と北部の宮津市国分にそれぞれ郷土資料館（ふるさとミュージアム）を設置しています。両資料館では、重要文化財などの貴重な資料の収集、保存等に加えて、特別展、企画展、文化財講演会・講座、わかりやすい文化財セミナー・講習会、子どもたちに物作り体験を通じ楽しく歴史や文化財に親しんでもらう「心のふれあい教室」など各種の事業を実施しております。

皆様ぜひ一度資料館においでください。

## ふるさとミュージアム山城

ふるさとミュージアム山城は、くにきゅうあと 恭仁宮跡やこまであと 史跡高麗寺跡・つばい おおつかやま こ 椿井大塚山古墳等に近接して立地し、常設展では南山城の歴史と文化をわかりやすく解説し、発掘調査で出土した貴重な木製品、金属器等の保存処理も行っています。主な収蔵品には、重要文化財の仏画「如来像」、府指定の大般若経、高神社文書などがあります。

電話0774-86-5199  
ホームページアドレス  
<http://www1.kyoto-be.ne.jp/yamasiro-m/>  
〒619-0204  
山城町大字上拍小字千両岩



「心のふれあい教室」白と昔のおやつ作り

## ふるさとミュージアム丹後

ふるさとミュージアム丹後は、特別名勝天橋立を望み、成相寺、龍神社、史跡丹後国分寺跡に近接して立地し、常設展では丹後の歴史と文化をわかりやすく解説し、敷地内の府指定「旧永島家住宅」においては、紙すきやそば作りなどの親子体験教室を実施しています。主な収蔵品には重要文化財のガラス釧、青龍三年銘鏡、環頭大刀などがあります。

電話0772-27-0230  
ホームページアドレス  
<http://www1.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>  
〒629-2234  
宮津市字国分小字天王山



「心のふれあい教室」凧作り教室

## トータルアドバイスセンター (電話または来所)

子どもの発達、いじめや不登校などの学校教育や、子育てやしつけなどの家庭教育に関することについて精神科医や臨床心理士などが相談を受けます。

|        | 府総合教育センター内<br>(伏見区)  | 府総合教育センター<br>北部研修所内<br>(綾部市)                |
|--------|--|---|
| 来所教育相談 | 月～金(祝を除く)<br>10:00～17:00(電話で予約が必要です)                         |   |
| 電話教育相談 | 毎日(祝を除く)<br>8:30～20:30<br>(☎075-612-3268)<br>(☎075-612-3301) | 月～金(祝を除く)<br>10:00～19:00<br>(☎0773-43-0390) |

気になる子の理解と対応「みえますか？子どものサイン？」及び「LD・ADHD・高機能自閉症等のサポートマニュアル」をHPに掲載  
<http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/>